

福田弥平氏文書(4)概要

- 1: 文書群番号 099011
- 2: 文書群名 福田弥平氏文書(4)
- 3: 出所 福田弥平家
- 4: 家業・役職等
1. (福田家) 生津村庄屋／里正／生津村区長
 2. (池田家) 昆陽村役人
- 5: 地名
1. 摂津国武庫郡生津村／兵庫県武庫郡生津村／武庫郡武庫村生津／尼崎市生津／尼崎市武庫之荘西
 2. 摂津国川辺郡昆陽村／兵庫県川辺郡昆陽村／稲野村昆陽／伊丹市昆陽／伊丹市昆陽1丁目ほか
- 6: 行政区分
1. 幕府領／尼崎藩領／兵庫県第8区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市
 2. 幕府領／武蔵国忍藩阿部氏領／幕府領／兵庫県川辺郡／稲野村／伊丹市
- 7: 歴史
1. 生津村は武庫川左岸に位置し、村高は268石余。水利は武庫井組に属した。福田家は同村に居住し、代々「弥兵衛」を襲名した。
 2. 昆陽村は現在の伊丹市南西部に位置する。西国街道の宿駅として発展し、七町からなった。享保期には昆陽馬借と尼崎近在の馬持ちが、荷物の運送をめぐり争っている。村高は1,300石余で、武庫川から取水する昆陽井の井元であり、昆陽池等も有した。
- 8: 伝来
- 福田氏宅の納屋より木箱1箱に入った文書と物品(根付・小銭入れ等7点)が発見され、平成11年(1999)6月に福田氏より借用。本文書群が昆陽村池田屋太右衛門(宗兵衛)家から、生津村福田氏宅へ移動した経緯については不明。同14年3月、福田氏より寄託。
- 9: 史料入手先 福田皖行氏
- 10: 点数 44点(目録件数38件)
- 11: 年代 文政元年(1818)～近代
- 12: 構造と内容
- 本文書群は、福田弥平氏文書(3)と同様、昆陽村(現伊丹市)池田太右衛門(または宗兵衛)家に関する文書が大部分を占める。池田家は昆陽村の村役人を勤めたため、①昆陽村の村政に関わる文書(昆陽村関係訴状・願書控え、昆陽井人足割り、昆陽村観音寺関係文書)が数点ある。また②池田家の経営の一端を示す文書として小作・出作関係帳簿、買物入用控え・請求書類がある。
- 13: 関連史料 福田弥平氏文書(1)(2)(3)
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 松迫寿代